

# 明德寺ミニ便り

平成25年5月

(復刊2号、通刊148号)

## 明德寺檀徒の皆様

このところ夏のような暑い日だったり、涼しい日があったり、安定しません。皆様お元気にお過ごしでしょうか。

### 明德寺の行事ご報告

#### 一 琵琶の演奏会(於 明德寺客殿)

に150人集まりました

名古屋在住で琵琶の世界的奏者、北川鶴昇氏による演奏会が更級人風月の会との共催で3月23日(土)に開かれ、たくさんの方が演奏と語りを楽しみました。遠方から聴きにいられた方、ありがとうございます。客殿に、一五〇人も人が集まったのは初めてでした。

写真は演奏会後の懇親会。80人弱の人が懇親会に参加しました。右端に向こう向きで立っておられるのは、北川鶴昇先生。



#### 二 明德寺お花祭りが盛大に

4月14(日)に行われました。ボランティアの方々による智恵団子・綿あめ・甘茶や演芸、今年は人力車や尺八を演奏する虚無僧団の出演もありました。人力車・虚無僧団は、千曲市上徳間の堀口鉄久さんのご協力で実現しました。檀家役員の方々、ボランティアの方々、ありがとうございます。

写真は当日の稚児行列。残念ながらこの写真には稚児は写っていません。右端の象のさらに右に行列があり、綱で象を引っ張っています。象のうしろに太鼓、その後ろに人力車(3人の稚児が交代で載せてもらいました)、そのうしろに虚無僧団が尺八を吹きながら列を作っているのがみえます。



#### 三 信濃三十三観音札所めぐり

##### 第二回参拝(千曲市と長野市南部の7ヶ寺)

4月22日(月)、参拝者26人、無事に七ヶ寺をお参りすることができました。次回は中信3ヶ寺と北信2ヶ寺です。九月の予定です。一回ごとに参加者を募集しますので、前回に参加いただけなかった方々のご参加もお待ちしております。

左下の写真は、第十一番明真寺清滝観音堂の奥の院(阿弥陀堂)。(中央は、塩崎長谷観音ご住職)。参道にはまだ雪がありました。

### 明德寺の予定行事

#### 一 明德寺施餓鬼会

毎年、8月3日に、組寺の住職さんにおいていただいで施餓鬼会を実施しています。後日、あらためてご案内をさせていただきます。

#### 二 小学校PTA行事に協力

夏休みになってから、5日間ほど、ラジオ体操がありますが、そのあと明德寺の本堂に入ってもらって、羽尾の民話の朗読と、座禅(といっても、般若心経を皆で声を合わせてお唱えすること)をしています。先代の住職から始めたことなので、いつから始まったのかははっきりしません。

2年前から、夏休みに入った最初の日曜日の午後から月曜日の朝までの一晩、「お寺に泊まろう」という行事をしています。昨年は、紙鉄砲作りや写

経、肝試しなどをして、客殿に一泊して次の日に掃除をして帰宅しました。主催は羽尾四区・五区のPTAです。今年も計画していると聞きました。

#### 三 講演会(更級人風月の会主催)

##### ホテルとその一生

1 冠着山頂のヒメポタルにも触れてー  
7月20日(土) 午後6時30分

明德寺客殿にて、講師は信州大学理学部生物科学科教授(昆虫学)の藤山静雄先生です。

### あとがき

前号は復刊1号(通刊90号)として発行いたしました。90号以降のミニ便りがありましたらお知らせ下さいと書きました。そしたら、お二人の方(上水貴一様(東京都)、小山吉夫様(千曲市上徳間))から、90号以降のミニ便りを送っていただきました。良く保管しておいていただきありがとうございます。実は、その後、明德寺でも、タンスの奥から古いミニ便りが発見され、結局、先代住職が発行した旧ミニ便りの最終号は平成7年12月1日発行の146号であることがわかりました。先代の発行したミニ便りを拾い読みすると、先代の新しい発想と、檀信徒さんとの協力をいただいて、この寺を良くしようとする気持ちが伝わってきて胸が熱くなります。私の父親ながら誇りに思うと同時に、これを引き継がねばと思えました。

南部アフリカにザンビアという国があります。明德寺の長男、弘潤が2年前から青年海外協力隊の一員として、首都ルサカで光通信の専門学校の講師として仕事をしています。住職夫婦でザンビアへ長男を激励に行ってきます(6月1日〜11日)。急用の方は、明德寺へ電話していただければ、ザンビアの住職の携帯に転送されます。

